

A: 松本直樹・納和也

B: ごとうなみ

C: 松田朕佳

D: 町田哲也

グレイスフル芸術館 納和也 + 松本直樹

『結婚とは、すべての意見を共にし、しかしすべての男が意見を異にするところの、一つの主題である。』……オスカー・ワイルド

いったい「結婚」とは何だろう？

こんな突飛な問いに真面目に答えるとすれば、具体的で個別な事例／経験（恋愛）を一般化されうる定式（結婚）へと結びつけることである。

それならもし仮に、そのプロセスの前後を逆にし「結婚してから恋愛を始める（既存の定式を先取りし、特殊な経験を事後的に獲得する）」ということは、はたして可能だろうか？ 論理的には可能だろう。

しかし例えば、「お見合い」という形式でさえも、男女（あるいは男男、女女）の出会いは異なるが、前述のように個別な事例／経験から定式へと至るプロセスは同一である。デートを重ね互いの相性をはかることも、だからこそ「お断り」する（される）可能性さえも、無慈悲にも担保されているのだ。いくらその先に「結婚」があろうとも、あくまでも（二人にとって特別で）各々個別な経験として体験しなおさなければ、実感を伴い位置づけられることはありえない。それがどれほど自明で一般的な定式／定理であっても特殊な経験（practice）を経なければ他者との了承を得ることなど出来ないのだ。



松本直樹 1982年 長野県生まれ info@matsumotonaki.com

2007年 東京芸術大学 第七研究室 修士課程 卒業

2004-2007年 近畿大学 国際人科学研究所 東京コミュニティ・カレッジ 四谷アート・ステュディオム 研究員 2013~長野美術専門学校非常勤講師

[個展] 2003「こわれるのも みてたいの。」| 毎日アートギャラリー (お茶の水) | 2005「+0 (プラスマイナスゼロ)」| GALLERY

OBJECTIVE CORRELATIVE (四谷) | 2007「第二十計 混水摸魚」| GALLERY OBJECTIVE CORRELATIVE (四谷)

[グループ展] 2001「森岳 ARTContemporaneous2001」| 長崎 | 2004「松に衣 梅かおり 一暮ちりぬる 城の西。」| 文房堂ギャラリー (お茶の水)

「MEANS AND ENDS」| GALLERY OBJECTIVE CORRELATIVE (四谷) | 2005「五月展」| ギャラリー覚 (銀座) 「ハチミツとハニカムボード」|

GALLERY OBJECTIVE CORRELATIVE (四谷) | 2006「Scrapple From the Apple」| GALLERY OBJECTIVE CORRELATIVE (四谷)

納和也 1971年埼玉県熊谷市 (旧妻沼町) 生まれ andersen@ngn.janis.or.jp osamekazuya.com

1994年阿佐ヶ谷美術専門学校リビングデザイン科卒業 1998年~2010年 株式会社デジタルアドベンチャー勤務

個展 2007年 個展「空間という距離」東京都銀座にて開催

グループ展 1992 STUDIO3 企画展「これまでとこれから」参加 1994 韓国アート展「stepping ston」参加 2008 3人によるグループ展「3coins」

企画、作品出展

2008 バス専門誌、バスマガジン (編集会議) 川中島バス (長野県) 特集を企画、ライティング 2011 TOPOS03 IN FLAT FILE 「ヒトが手を出す

と世界は1mm ずれて降る雪は鋭い針になりボク、あなたは刺される。凍りついた血液は流れることもできない」ユニット machidatetsuya +

osamekazuya 参加 2011 TOPOS03 IN 花蔵 町田哲也氏作品制作参加 2011~OSAME KAZUYA VIDEO DIARY 継続制作 2012 TOPOS 04

depression karte / はっぱカフェギャラリー / 長野市 depression devote / ギャラリー花蔵 / 長野市 2013 マツシロオルタナティブ企画 / オブセ

オルタナティブ コーディネーター

2012~ プランニング・メノオト企画サポーター



グレイスフル芸術館 納和也 + 松本直樹

『恋人同士の喧嘩は、恋の更新である。』……プブリウス・テレンティウス・アフエル

画家は眼前に広がる光景をキャンバスへと写そうとするとき、絵具をチューブから捻り出し、もしくは顔料とメディウムとをパレットで練り合わせ、絵筆やナイフでキャンバスへと擦り付ける。言い換えれば、眼に映る「光」を絵具やキャンバスといった、より具体的な「物質」へと翻訳することであり、それだから描くという行為は、ある事象を別の事象へと再構築する過程である。

「恋」は盲目というけれど、作品をつくる上で作者は自身の感覚を無批判に妄信してはならない。「いままさに、ある光景を見ている」という自分の経験を一旦解体（感覚に対し距離をもって引き離）し、自身の中に、それらを統合する別の人格を創造／発明しなければならない。対象に同一化することやオートマティカル（無意識にも光景を映し出してしまう眼の様）に引き出される行為を黙認しては制作（＝事象を再構築）することなどままたまならないのだ。

グレイスフル芸術館 納和也 + 松本直樹

『恋は最も変わりやすいと同時に最も破壊しにくい不思議な感情である。』……アンリ・ド・レニエ

ときとしてリテラルに環境を変え、暴力的にも他の人格を導入すること。ともあれ、あまりにも見慣れた世界から、（まるで運命の人を見出したときの様に）あらたに認識が曳き出されるその瞬間が可能であるとするならば、こうした条件をまず確保しなければなるまい。

花井邸倉庫 松田朕佳 2013年

「壁／羽」素材：壁に羽

「水を打つ音」素材：バケツ、氷、石

おそらく音は鳴る／鳴っただろう。可能性と痕跡。

「いちご牛乳をめぐる張力」素材：いちご牛乳、チューブ、クリップ

グレイスフル芸術館

「斜陽」素材：ガラスケース、羽、土、クリスタル、骨

「Hundreds & Thousands の行列」素材：Hundreds & Thousands



松田朕佳 ckma2da@hotmail.com www.chikamatsuda.com

2010年 アメリカ合衆国アリゾナ大学芸術学科修士課程修了 2006年 ニュージーランド Nelson Marlborough Institute of Technology Visual Art 科卒業  
アーティスト・イン・レジデンス 2013年 AGORA Winter Residency (ドイツ、ベルリン) 2012年 Prairie Center of the Arts (アメリカ、イリノイ州)  
2011-2012年 Border Art Residency (アメリカ、ニューメキシコ州) 2009年 Process-Space Art Festival (ブルガリア、ボルネック)  
個展 2013年 TOPOS Highland 2013 アリコ・ルージュ 長野 2012年 「Fragments of A long Sentence」 Sotoa Gallery (アメリカ、テキサス州)  
2010年 「Melt into the Atmosphere」 Richard Levy Gallery (アメリカ、ニューメキシコ州) 2009年 「Here-Standing Still」 Graduate and Alumni Gallery (アメリカ、アリゾナ州) 「I cannot be at two places at the same time」 Graduate and Alumni Gallery (アメリカ、アリゾナ州) 2008年 「Static Motion」 Lionel Rombach Gallery (アメリカ、アリゾナ州)  
グループ展 2013 オブセオールドナティブ NIPAF アジアツアー 「Portrait In The Moving Image」 Internationell Konst Film Utställning (スウェーデン、ベトナム)  
「Do you see the forest? I see trees.」 AGORA (ドイツ、ベルリン) 2012 「The A.I.R. Gallery 10th Biennial」 The A.I.R. Gallery (アメリカ、ニューヨーク州ブルックリン)  
「IRREVERSIBLE Magazine Winners Exhibition」 Wynwood Exhibition Center (アメリカ、フロリダ州マイアミ) 「Moving Image」 Prairie Center of the Arts (アメリカ、イリノイ州ピオリア) 「Videoholica 2012 International Video Festival」 Archeological Museum Verna Gallery Arhis (ブルガリア、ヴァーナ) 「NAGANO 新 CONCEPTUS」 志賀高原ロマン美術館 (長野県) 「まつしる現代アートフェスティバル」 松代藩文武学校 (長野県) 「動きとしてのアート」 ヴィオ・パーク劇場 (長野県) 「Hands」 [BOX] Videoart Project Space (イタリア、ミラノ) 「Videoholica Special Selection 2011」 Visual Container (イタリア、ミラノ) 「New Mexico Showcase」 516 ARTS (アメリカ、ニューメキシコ州)  
2011 「Delight-becomes pictorial」 Kore Press (アメリカ、アリゾナ州) 「Nod Nod Wink Wink: Con-cep-tual Art in New Mexico and Its Influences」 Harwood Museum of Art (アメリカ、ニューメキシコ州) 「メタモルフォーシス」 八十二文化財団ギャラリー 82 (長野県)  
賞 2011 「Videoholica Special Selection 2011」 International Video Festival (ブルガリア)  
2009 「First Place and Purchase Award」 Harwood Art Center, Crossing 2009 South West Graduate Student Competition (アメリカ)  
2008 「Outstanding Student Achievement in Contemporary Sculpture Award」 International Sculpture Center (アメリカ)  
2007 「第8回スパイラル・インデペンデント・クリエーターズ・フェスティバル審査員赤池学賞」 (東京)

「生と死を繋ぐもの。その間の行為」 ごとうなみ 2013年

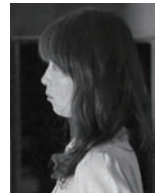
インスタレーションミーティング：花井氏倉庫

「繋ぐ」 素材／天然ゴム風船 Clear(9inch)/White,PearlWhite(11inch)/Ivory(13inch)

グレイスフル芸術館

「繋ぐ」 素材／天然ゴム風船 Clear(9inch)/White,PearlWhite(11inch)/Ivory(13inch)

ごとうなみ 1969 鳥取県生まれ 長野県在住 namigt@gmail.com http://nami-goto.jimdo.com  
2008~ 長野美術専門学校非常勤講師 2009 画文集「ゆりかご」発行/版元 桜花書林 (銅版画中村真美子・宮冢ごとうなみ) 2012 gg ごとう画室 設立  
個展 1999 長野平安堂アートサロン・Tea room 藤屋・戸隠ランブ/長野市 2003 galerie cafe 夏至/長野市 2004 朝陽館ギャラリー/長野市 2007 十輪堂/長野市戸隠 2008 ナノグラフィカ/長野市 2010 D&DEPARTMENT NAGANO by COTO /長野市 2011 ギャラリー健/さいたま市  
グループ展 1999 貴の詩/富山県 長谷観音/長野市 2000 neonhall /長野市 朝陽館ギャラリー/長野市 2001 立川芸術館/東京 2002 朝陽館ギャラリー/長野市  
2004 西ノ門よしのや/長野市 玄照寺/上高井郡小布施町 七瀬商店街/長野市 ナノグラフィカ/長野市 2007 八十二ギャラリー/長野市 2009 長野市役所/長野市 佐久平駅東急インギャラリー/佐久市 2008 東和田情報ステーション・長野市役所/長野市 長野東急百貨店/長野市 七瀬商店街/長野市 2009 長野市役所/長野市 監仙閣/下高井郡洪温泉郷  
2010 長野市役所/長野市 玄照寺/上高井郡小布施町 おふせミュージアム・中島波館/上高井郡小布施町 八十二ギャラリー/長野市 2011 観水亭/下高井郡洪温泉郷  
西天満ギャラリー/大阪 2012 観月亭/下高井郡洪温泉郷 志賀高原ロマン美術館/下高井郡山ノ内町 北野カルチュラルセンター/長野市 2013 望郷/下高井郡洪温泉郷  
受賞 2010 境内アート小布施 X 苗市アート部門優秀賞 2011 International Art Competition 入賞





池田久 1979 長野県長野市生まれ flow@r-40.com  
2002 Goldsmiths' College, University of London 留学  
2004 ビジュアルエコー” DOGS” / 玄照寺 / 小布施 2005 ビジュアルエコー” 踊る蛹” / 玄照寺 / 小布施 2007 ビジュアルエコー” メモリーズ機能としての映像” / オブセコンテンポラリー / 小布施 2012 年 TOPOS 04 depression karte / はっぱカフェギャラリー / 長野市 depression devote / ギャラリー花蔵 / 長野市

「厨子王の恋は安寿と母の池に」 町田哲也 2013 年

インスタレーションミーティング：花井氏倉庫  
「厨子王の恋は安寿と母の池に」 素材 / 薪、廃材、石膏

グレイスフル芸術館  
「厨子王の恋は雪の中」 素材 / 廃材、石膏



町田哲也 1958 長野市生まれ iam@machidatetsuya.com machidatetsuya.com  
多摩美術大学抽象専攻卒 ゲーティンスティチュート・ベルリン  
1990~2000 スタジオ 3 美術研究所 2002~2008 新宿情報技術専門学校 2000~ クマサ計画  
個展 1980~2012 東京・長野 グループ展・企画展 1981~2013 東京・長野・他  
プロジェクト・企画 2004~ ビジュアルエコー 2008 クリストフ・シャルル、藤井浩一郎 [音と彫刻による環境造形・パブリックアートの提案] / オブセコンテンポラリー  
2011~ トボス 2012~ ブラッチング / トボステラソ川合朋郎ソロ 2013~ トボス富地 アリコ・ルージュ 2013~ メノオト  
2013 マツシロオルタナティブ 池田満寿夫美術館 / オブセオルタナティブ 小布施ミュージアム 中島千波館木造館 / 鬱間主観